

**NPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト
活動報告書**

2023年5月14日

SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

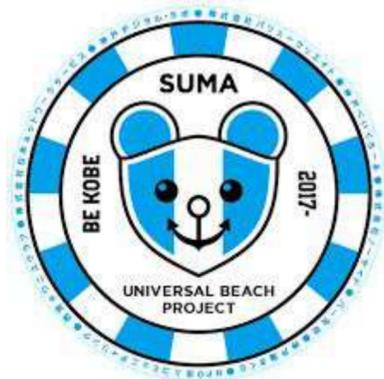
OUR SLOGAN:

みんなの『できない』を『できた!』に変える。

私たち須磨ユニバーサルビーチプロジェクトは、「障害を持っている方やお年寄り、小さなお子さんをお持ちの親御さんなど、みんなが気軽に安心して海水浴を楽しんでもらえるユニバーサルデザインのビーチにしよう」という2017年に神戸・須磨海岸で発足したプロジェクトです。現在では「ビーチ」という場所を超え、たくさんの人たちのアイデアを重ねながら、障害者も健常者も関係なく、性別も年齢も超えて楽しめる場所と自分らしくあるための「挑戦」の場の機会を提供し続けています。

2021年を迎えた今、時代は大きく変わりました。当たり前が当たり前でなくなった今、私たちはより自分たちで考え、行動していくことが求められています。どんな小さなことでもいい。一人一人が「やりたい」と思えることを、お互いが応援しながら挑戦し続けられる環境と、より良い世の中を目指して頑張れる場所へ。

一人一人の挑戦を、「できた!」に変えて行きます。



IAUD国際ユニバーサル
デザイン賞2019金賞受賞



平成30年
ユニバーサル社会づくりひよ
うご推進会議会長賞

おいしいって、生きること。

Q・B・B

ネスレ
Nestlé
Good Food, Good Life

monoAI
TECHNOLOGY

NIH NET
(株)日本ネットワークサービス

障がい福祉サービス事業所
思草

協浜戎大社



ビーチのユニバーサル化を目指した活動の他、地域や企業を巻き込み「楽しみながら挑戦する場」を提供

OUR SLOGAN

みんなの『できない』を『できた!』に変える。

BEACH ACTIVITY

- ビーチのユニバーサル化を目指した活動
- ・車椅子でもビーチに行けるマットの導入
- ・水陸両用車椅子の導入
- ・障がい者対応施設の管理 (神戸市委託による)

※“出張ビーチマット”導入数: 日本最多の18都道府県20ビーチを突破



農業・漁業体験



- 地元の農と漁に触れる体験
- ・丹波篠山での枝豆収穫体験
- ・須磨浦水産との地引網体験

アウトドア体験



- 自然と共に過ごす体験
- ・須磨離宮公園での体験
- ・六甲山でのキャンプ体験

環境への取り組み



- ビーチクリーン活動
- ・全国のビーチとクリーン活動
- ・マイクロプラスチックを集める
ビーチクリーン活動

コロナ禍での取り組み



- 繋がりを絶やさない活動
- ・GPSラン・アート体験
- ・バーチャル空間を用いて交流会

賛助会員様の協力を得ながら、障害者・健常者がともに楽しめるイベントを企画しております。

企業様とのコラボで様々な「できた！」を提供。

QBB 様

■ 食にまつわる様々なチャレンジ

- ・六甲山牧場で障がいのある方でも楽しめる乳しぼり・乗馬体験イベントの開催
- ・オープン延期になった新工場でオンライン工場見学を開催

おいしいって、生きること。

Q·B·B



ネスレ日本 様

■ 環境破壊に対するチャレンジ

- ・須磨海岸で海の中のゴミを障がいのある方が拾う海中清掃イベントを開催
- ・マイクロプラスチックでつくるキーホルダー作成イベントの開催

ネスレ
Nestlé
Good Food, Good Life



monoAI 様

■ 場所を超えたチャレンジ

- ・外出が難しい状況下、全国のビーチの皆さんとオンラインを通じた交流&作戦会議
- ・自身のアバター作成、バーチャル空間でのコミュニケーション



※上記は法人賛助企業様との活動の一部です。

2021年のメディア実績



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

●11/3 毎日新聞に掲載していただきました
<https://mainichi.jp/articles/20211102/k00/00m/040/048000c>
yahooニュースに掲載していただきました
<https://news.yahoo.co.jp/articles/85ea3035856a4bc33fc606451c1105cb01400dc3>

●10/26 神戸新聞に掲載していただきました

●10/17 RKB毎日放送に放送していただきました
テレビ九州に放送していただきました。

●7/14webメディアエシカル CHOICEにご掲載いただきました
<https://myethicalchoice.com/ethical-picks/suma-universal-beach-project/>

●7/1日本政府観光局のオリパラサイトTOKYO AND BEYOND 2020にご掲載していただきました
<https://www.japan.travel/tokyo-and-beyond-2020/en/sports-and-activities-in-japan/destinations-with-accessible-sports/>

●6/28朝日新聞にご掲載していただきました

●4/24紀伊民報にご掲載いただきました
<https://www.agara.co.jp/article/120536/>

●4/1令和3年度より教育出版中学社会公民に掲載されています

●3/26国土交通省観光庁持続可能な観光の先行事例としてご掲載いただきました
https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics08_000181.html

●3/1神戸新聞にご掲載していただきました
<https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/202103/0014115749.shtml>

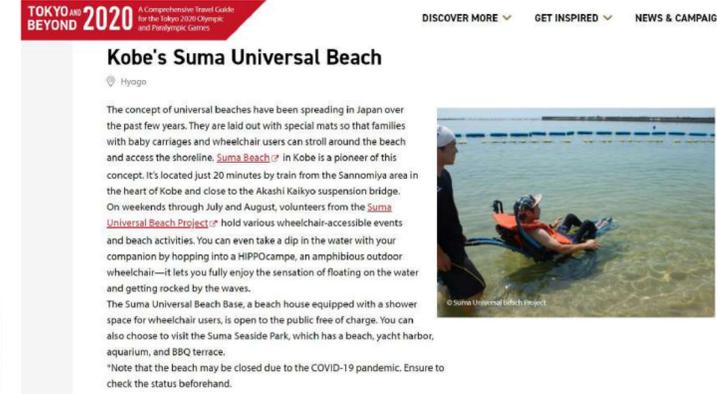
●3/1 Believe Japanにご掲載していただきました
<https://believejapan.com/?p=6212>



中学社会公民の教科書



国土交通省先進事例



政府オリパラサイトBEYOND2020

ひらひら風に舞うTシャツ900枚 和歌山・白浜で3日からアート展

2021/11/2 11:02



Tシャツアート展開催に向け、準備作業が進む白良浜＝和歌山県白浜町で、竹内之浩撮影

和歌山県白浜町の白良浜を美術館に見立て、絵や写真などをプリントしたTシャツで飾る「白良浜deひらひらTシャツアート展」が3～7日に

11/3 毎日新聞

07/14/2021 | Wednesday

海を誰でも楽しめる場所に。須磨ユニバーサルビーチプロジェクトが目指すものとは



夏はビーチに行く、海水浴を楽しむ方が多いでしょう。

しかし、障害を持っている、特に車椅子の方にとって、海は最も遠い存在だとも言われています。

普段は、海に行くことが選択肢にない障害者の方にも、海を楽しんでもらおうと始まったのが、今回紹介する須磨ユニバーサルビーチプロジェクト。

プロジェクトを開始したきっかけと、変えたい現実に迫りました。

webメディアエシカル CHOICE

AGARA 紀伊民報

車いすで白良浜 “試走”、今秋の催しに向け

(2021年04月24日 14時30分 更新)

和歌山 紀南 社会 政治・行政



砂浜に敷いたマットの上を進む参加者（和歌山県白浜町の白良浜で）＝和歌山県白浜町提供

和歌山県白浜町の白良浜でこのほど、砂浜に敷いたマットの上を車いす利用者が進む催しがあった。今秋のイベントで車いす利用者にも来場してもらうための“試走

4/24紀伊民報



須磨ユニバーサルビーチプロジェクト・夏活動一覧表





須磨ユニバーサルビーチプロジェクト・秋活動一覧表

	9月	10月	11月
須磨・熊子	<ul style="list-style-type: none"> ●9/11 高砂SUP ●9/ 中旬? 高砂講習会 ●9/23 ユニバーサル地引網 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/1,2 自然の家キャンプ ●10/16 ブルーカーボンフェア ●10/29,30 FARM to FORK 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/ 中旬ぐらい? U 中止 作成イベント ●11月? OBBさんと山企画 中止
出番UBP	<ul style="list-style-type: none"> ●8/28 熊本 ●9/3 鹿児島 ●9/17~19 淡路うみぞら映画祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/8,9 安曇野ツリーイング 中止 ●10/27,28 奈良学校修学旅行@白浜 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/3, 11/6 白浜ひらひらTシャツ ●11/23 須磨FRS 秋のウォーキング
その他 農業・高砂	<p>← 随時募集予定: 獣害対策・水やり・収穫 →</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●9/ 中旬ぐらい? 秋の準備 夏の片付けと土ならし 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/ 下旬ぐらい? 冬野菜を植える 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/ 中旬ぐらい? 芋ほりと収穫祭

・開催の方針

オンラインでの実施が可能か、現地視察を行い感染対策が可能な環境でできる限り開催に向け準備を進めました。

ただ、世の中の雰囲気として、“自粛警察”が社会問題になるなど、積極的なイベント開催に否定的な気運も高まりました。実際、感染対策のずさんなイベントが多く、大きくメディアに取り上げられ問題視されました。

須磨UBPとしては、「実害より風評被害」と考え、感染者が活動内、団体内で出た場合、実害以上の被害を受け、これまでの実績を台無しにしかねないと判断しました。

そのため、基本的には、今年一年、**オンライン開催で実現することに重きを置き**、現地開催にする場合は、風評被害のリスク回避のため、イベントの募集対象は**原則既存のコミュニティ内での募集にしぼり**、新規の方への募集は知人を介しての紹介のみにしました。

須磨ビーチでの活動(マット導入 6年目)



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

2021年夏は、不要不急の外出や都道府県をまたいでの移動は控えるよう政府や行政からの要請が出た状態でした。その中で、須磨海水浴場は公式には「開設」とは発表せず、ただ、地域の人たちの憩いの場所として、告知などは一切せず、海水浴場や障がい者利便施設(須磨ユニバーサルビーチベース)を設置し、運営しました。告知しなかったこと、また雨の日が多かったこともあり、利用者は激減しました。

○須磨UBP公式HP↓
<https://sumauniversalbeach.com/>

●利用者・人数(利用者アンケートで集計)

・障がい者、介助者、ベビーカーユーザー、高齢者

○利用者数92名

○利用組数34組

コロナで利用者は少なかったが、ほとんどがユニバーサルベースの存在を知らずに訪れていたため、2022年以降の来客も見込める。

→コロナがおさまればたくさんの方が来てくれると思われる



Q.B.Bチーズズオンライン工場見学



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

2019年春から最新設備が整った神戸工場が稼働開始
当初2020年秋には、QBBチーズの歴史、作り方、特徴を楽しく学べる工場見学施設がオープンする予定でした。
しかし、新型コロナウイルスの影響によりオープンを延期。そのような状況のなか、特別に須磨ユニバーサルビーチプロジェクトが一足早くオープン前の見学施設を紹介するオンラインイベントを企画する運びとなりました。
皆さんとチーズの秘密を学んだりチーズを作成したり、参加者の方のオリジナルレシピの発表会をしたりと初めての試みでしたが大盛況でした。
オンラインで開催したことにより、東京や長崎など、普段参加できない子どもたちも参加することができました。



2021年 6/27 QBB神戸工場からオンラインで

・実験も兼ねてオンラインで開催



武庫川女子大学から生徒さんがインターンに



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

8月～9月、須磨ユニバーサルビーチプロジェクトに、インターンとして武庫川女子大学の学生さんが3人参加してくれました。

今年の夏はコロナや雨が続き、イベント等がキャンセルになり体験者さんと触れて頂く時間はありませんでしたが、1日時間をもらい、車椅子ユーザーとスーパーに行ったり、車椅子、ヒップキャンプの体験をしてもらったりしました。

普通に生活していると気づかない事など、様々なことを知っていただいたと思います。

また、向島公園で高砂ユニバーサルビーチプロジェクトと題して車いすユーザーも一緒になって楽しめるSUP体験などを企画した際にも、お手伝いに来ていただきました。

体験者さんや、スタッフ、お手伝いさん等ともコミュニケーションを取り、より須磨ユニバーサルビーチプロジェクトの活動を知っていただくことが出来たと思います。



2021年 8/1～9/30 武庫女学生さんのインターン

・社会人として、市民として、地域におけるボランティア活動に参加。協働を通じて新しい視点を得ると同時に多様な課題解決を経験しました。



歩道の少しの傾斜でも車椅子には厳しいことを体験して頂きました



水陸両用車椅子の組み立て方、バラシ方を体験



水陸両用車椅子に乗ったり押したり、体験



車椅子のユーザーと一緒にメガサップ体験



高砂で集合写真



片付けまで一緒に

高砂市の向島で「できない」を「できた！」に変える。 みんなでカヌー & SUP体験会



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

高砂市公共空間利活用モデル事業の新たな取り組みの中でマックアースと組んで2022年のユニバーサルアクティビティ開発の重要な拠点として高砂向島公園が選ばれ「たかさごユニバーサルデザインプロジェクト」と題して、車いすユーザーも一緒になって楽しめる公園を目指すために2021年9月。試験的にイベントが行われました。

今回初めて参加して下さる方々もいました。

そのうちの一組のご家族。お父さんが車椅子のため、海にいったことのなかった10歳の娘さん。家族で海に行きたいけど、車椅子で海は厳しい...そんなとき娘さんが自ら須磨UBPの事を調べ、連絡をいただきましたが、今年はコロナで海水浴場は開催しておらず、その際今回の高砂の体験会のことを提案し、参加して頂きました。

海が初めてのご家族と、参加して頂いた方、久々のサポートを行うスタッフ。みんなで時間ギリギリまで楽しみました。

向島公園のユニバーサル化への改善点と、同時にたくさんの可能性を感じました。

2021年 9/11 高砂向島公園で開催

・高砂市の新たな取り組み「たかさごユニバーサルデザインプロジェクト」に参加



高砂にビーチマットを敷きました



カヌーも楽しみました



海まで続きます



学生さんも見て学びます



代表自らも体験



健常者の方も一緒に楽しみました



使ったものは次回の為に綺麗にします

神戸少年自然の家でユニバーサルソロキャンプ



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

障害の有無や年齢に関係なく、事前に準備と練習、いざというときのサポートがあれば1人でもソロキャンプができるはず。

そんな仮説を持ってユニバーサルソロキャンプにチャレンジしました。

デカトロン西宮店さんとのコラボで事前に店舗に視察、試用実際に試したい商品と西宮店が試してほしいアイテムをピックアップし、作戦会議を行い、実施。

開催月は感染状況も多少好転していたタイミングでもあり、神戸少年自然の家の協力の元実施を決断しました。

また、参加者の睡眠時の機器使用の電源確保の為に、TOYOTAさんから、水素自動車も来ていただきました。

- ・テントキャンプ・災害飯・竹ランタンづくり
- ・竹いかだ作り・竹飯盒炊爨・カレー作り など



2021年 10/2 神戸少年自然の家にて開催

- ・障がい者でもソロキャンプを楽しめることを証明



視察の様子



災害飯と水素自動車



テントと睡眠時の呼吸器

竹イカダ作り



テントと車椅子



メガサップと竹イカダ



メガサップ



みんなで作ったカレー



全国ユニバーサルビーチの集い@ XR CLOUD ビーチ



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

新しい試み！クラウド上のビーチで全国のビーチをつなぎました。
クラウドビーチによってこれまで一堂に会することのできなかつた全国のユニバーサルビーチの活動をされている方、ユニバーサルビーチ以外でも、ビーチクリーンや釣りをしている全国の仲間が集まり情報交換をすることができました。
クラウドビーチ内の大型ビジョンでは、写真や映像も流すことができました。
自由に集まれないこういう時だからこそ、企業、個人、仲間と力を合わせて取り組むこと。

また、夏の終わりには須磨UBPのメンバーで再度クラウドビーチを開き、お疲れ様会 & 懇親会を行いました。
今後の活動についてや、来年に夏に向けての妄想をしながら夏に集まることのできなかつたフラストレーションを解消するかの如く、わいわいにぎやかにお話ししました。



2021年 7/7 全国の仲間と情報交換
8/21 須磨UBPのメンバーで夏の懇親会

・オンラインで開催することで全国から仲間が集まった



マイクロプラスチックでキーホルダーづくり 1



須磨UBPではSDGsの「海の豊かさを守ろう」というテーマに関する取組もしています。ネスレさんとのコラボイベント「海のゴミ問題を考えよう」をオンラインで行いました。須磨の砂浜でUBPメンバーとネスレさんで拾ったマイクロプラスチックを使用し、それぞれオリジナルのキーホルダーを作成。作成したキーホルダーはカラフルで綺麗ですが、同時に世界のゴミ問題などもお話させていただきました。みんなで海を守るためにそれぞれ何ができ、何をするのか、親子で考えるきっかけになってくれたら嬉しいです！



2021年 9/19 オンラインでネスレさんとコラボ企画

・海のゴミを拾い、事前に配布、キーホルダー作り
同時に子どもたちに海洋ゴミ問題をお話しました



マイクロプラスチックでキーホルダーづくり 2



マイクロプラスチックを集めました。

ザルで砂を救い、バケツに入れた水に入れるとマイクロプラスチックが浮かび上がります。他のゴミは分別し、マイクロプラスチック水洗いします。乾いたらケースに入れて保存、参加者へバランスよく選別し、発送します。



100円均一で買えるレジン液を使いキーホルダーを作成します



型にレジン液を入れて、マイクロプラスチックを入れて、固まるまで待つことでこのようなキーホルダーが出来上がりました。



大阪府貝塚市の【脇浜戎大社】でユニバーサルビーチマット



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

毎年十日戎に合わせて2022年の今年も1/9～11に神社の玉砂利にビーチマットを敷く活動も今年で4年目になりました。
年々変化していくビーチマットの敷き方。
また来年が楽しみです。



マットがずれないように、ペグをうちます。



2022年 1/9～11 脇浜戎でビーチマット

・十日戎の3日間で神社にビーチマットを敷いて、誰でも参拝できるようにする。

今年も恵比須様に見守られながら



車椅子のメンバーも一緒に参加
お参りをしてきました



新しくユニバーサルファームを始めました



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

2022年春よりシェアファーム
伊川谷町前開にてユニバーサルファームプロジェクト(前開UFP)を開始
大人、子供、障がい者、健常者関係なく、みんなで楽しめる畑にしたいと思います。
みんなで害獣除けの柵を設置したり、土作りをしたり、肥料を持ち寄ったり、みんなで0から
育てる畑です。
いつかここで収穫した作物でみんなでカレーを作ったり、その他の事業につなげたりできたら
なと思っています。



2022年 4月～ 伊川谷 前開町

・みんなで楽しみながら農作業を目標に開始



須磨UBP2021年までの目標と達成状況



SUMA UNIVERSAL BEACH PROJECT

今後の展開(活動開始時に立てた中長期的な活動プラン)
2017年夏から2020年夏までのシーズンごとにプロジェクトを展開します。

【2017年夏】 1stステージ “車いすで須磨ビーチを楽しむ”

- 済 5月28日のビーチフェスタにて発表
- 済 キュレーションサイトを設置、情報発信
- 済 ビーチマットを導入し車いすでもビーチを楽しむための環境整備
- 済 海の家への啓発活動。ハード面ではなくソフト面で取り組みを広めていく。

【2018年夏～2019年夏】 2ndステージ “車いすで須磨ビーチ周辺を楽しむ”

- 済 駅周辺、駐車場からビーチへの動線整備(細かい段差、凸凹の道を改善)
- 済 車いす動線のマップ(案内板)の制作、掲出
- 済 ユニバーサルデザインビーチとしてPR,プロモーション活動(情報発信)
- 済 須磨から全国へ”を合言葉に「出張ビーチマット」を継続し全国のビーチをユニバーサルビーチにする。(2018年8月追記)

【2020年夏】 3rdステージ “車いすで電車に乗って須磨ビーチへ！”

- 済 須磨駅南口にエレベーターの設置に向けた意思決定
- 済 ユニバーサルデザインビーチとしてPR,プロモーション活動(情報発信)
- 済 須磨ビーチでブルーフラッグ認証を取得(2018年8月追記)
- 済 全国10エリア(北海道、東北、北陸、関東甲信越、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄)でビーチマット導入。(2018年8月追記)

【2021年以降の須磨UBP】

- 済 コロナ対策を講じてのユニバーサルビーチ ⇒出張ビーチマットで全国への普及を加速化
- 済 オンライン企画の実施 ⇒持続可能な企画開発を
- 済 2021年以降のプロジェクト理念、戦略の策定 ⇒次のステップに向けWhyの整理を

須磨UBP2021年までの活動マップ



※上記は法人賛助企業様との活動の一部です。

～みんなのできないをできた！に変える～

『大きな世界は小さなチャレンジからはじまる』

【私たちの果たす役割・ミッション】

- 「チャレンジ」は人生の本質。

人はそれぞれ、大小必ずチャレンジへの欲求を秘めている。優劣ではなく個性があっていい。

誰かと比べるより、自分を磨こう。No.1でなくOnly1を目指す人になろう。

- 「チャレンジ」は成長の種。

チャレンジは小さな成功体験を生み、自信につながる。その自信が次のチャレンジを生む。

だからこそ、みんなのチャレンジを応援したい。

- 「チャレンジ」はリスクを伴う。

制度の壁、周囲の反発、自分の限界。目の前の不安に打ち克つ心の強さを育みたい。

一緒に乗り越える仲間の輪を創りたい。

BE POSITIVE, BE KOBE.

ビジョン
(未来)

「大きな世界は小さなチャレンジからはじまる」

チャレンジは小さな成功体験を生む。小さな成功体験は自己肯定感を生む。自己肯定感を積み重ねることで、今より幸福度が上がる。幸福度の高い日常の積み重ねで「成功だけが幸福になれる唯一の方法ではない」ことを知り、前向きな世の中をつくる。

アクション
(行動指針)

「BE POSITIVE, PLAY LIFE, BE KOBE.」

1. できないをできた！に変える(諦めない)
2. 弱みを強みに変える(逆転の発想)
3. “みんな”でつくるユニバーサルビーチ(多様性)
4. できることは自分でやる。できないことはやろうとする。(権利と責任)
5. 人にも、地球にも、自分にもやさしく。

ミッション
(理念)

「みんなのできないをできた！に変える」

チャレンジは自信を生み、その自信が次のチャレンジを生む。
だからこそ、みんなのチャレンジを応援したい。

『弱みを強みに変える』

差別化

『みんなで作る
ユニバーサルビーチ』

多様性

チャレンジ

『できないをできた！に変える。』

権利と
責任

『できることは自分でやる。
できないことはやろうとする。』

持続可能
SDGs

『人にも、地球にも、
自分にもやさしく。』



須磨ユニバーサルビーチプロジェクト活動予定 2022(2021年12月19日時点)

